

北信教育事務所だより



～子どもに発し、子どもに還る 学校づくり・授業づくり～

令和5年6月6日 第2号

初任者研修 『共に学ぶ』

4月11日 初任研スタート研修
5月9日、16日 授業力向上研修 I

4月のスタート研修、5月の授業力向上研修 I と2回の初任研を実施しました。
今年度は、どちらも参集で実施ができ、北信地区からは33名の初任の先生方が参加しました。
—初任の先生の感想より—

先日の入学式で、それぞれ個性を持ち、伸び伸びと入学式を迎える姿を、保護者は一様に優しい笑顔で見守る姿がありました。一人の子の後ろには、何人もの人々が関わり、育ちを楽しみにしているのだと実感しました。その気持ちに伝えながら、生徒の力を伸ばすべく伴走し、支援していきたいです。

「この子はこれが限界だと思う時は、子供たちの限界ではなく、私たち自身の限界」「子供たちの可能性を誰よりも信じる存在であってほしい」という言葉が心に残りました。辞令交付式で「長野県の子供たちをどうかよろしく願います」と教育長の先生から辞令をいただいたことの重みを再確認することができました。

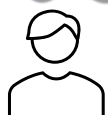
✧ 初任の先生方へ ✧

教師は、子供たちの成長を共に喜び、自分自身も成長していくことのできる素晴らしい仕事です。理想や誇りを持って取り組んでほしいと思います。一方で、悩みや不安を抱えることもあるでしょう。そんな時は、周囲の先生方や初任の仲間に素直に自分の思いを伝えてみましょう。きっと、前に進むための手がかりをつかめるはずです。教育事務所も、みなさんを精一杯応援していきます。



教えて先輩 ～初任の先生方の疑問について考えてみませんか～

研修の中では、初任の先生方の疑問や悩みがたくさん出されていました。
もし、初任の先生に次のような質問されたら、どのように答えますか？



教師は学びを教え込むのではなく、子供の学ぶ意欲を引き出し、子供が主体的に学んでいけるような授業をつくる必要があると感じました。子供が主体的に学んでいけるようにするためには、どのようなことを大切にすればよいのでしょうか。

アドバイス

「子供が主体的に追究していくには、「問い」や「願い」があることが大切です。子供は本来、「あれ？」「どうして？」「知りたい」「やってみよう」という知的欲求を持っています。その、「問い」や「願い」が連続していくことで学びが深まっていきます。」(教育課程編成・学習指導の基本(青本)p3より)

授業では、子供が「問い」や「願い」を持てるような事象との出会いを大切にしたいですね。



今年度の「北信教育事務所だより」では、「#問い」のキーワードをふまえ、先生方にも「問い」でつながっていただくよう、内容を工夫していきます。校内研修や、お近くの先生との語らいにクローバーマークの記事を、ぜひご活用ください。

<本号でお伝えする内容>

☆初任研研修『共に学ぶ』

☆日常の授業が「変わる」・先生方が「つながる」研究とは

☆北信地区 社会人権教育研修会

#…主な読者対象

#初任者 #初任研コーディネーター #全読者

#研究主任 #全読者

#人権同和教育担当 #全読者

頁

①

②

③

「第1回研究主任研修会」から考える 日常の授業が「充実する」・先生方が「つながる」研究とは？



○研修1 講義・演習

「全職員が関わりながら進める研究を研究主任としてどのように支えていくか」

研究主任の先生方が工夫されていることとして、次のようなキーワードがあがりました。

- ・悩みや課題を話しやすい雰囲気づくりをする
- ・プチ情報発信（良い実践を写真と短いコメント等で）
- ・お茶飲みトークで子供の話をする
- ・みんなで教材研究をする など工夫しています。

研究主任
A先生



日常の授業改善につながってこそその「研究」なので、日常の授業を開き合うところから研究を始めることはとても大事なことですよね。

目の前の一人一人の子供のために、先生方と共に悩みながら日々の授業改善を進め、自己課題を乗り越えていきましょう。そこで以下の内容で授業改善について語り合ってみるのはいかがでしょうか。

何のために研究をするのか？

学校教育目標の具現

目指す子供像

自己課題 日々の授業改善
自分事の研究 必要感のある振り返り

【研究主任会当日スライドより】

#問い

私の自己課題は…

大切にしていることは…

難しいと感じていることは…



語り合っただけで「先生方に共通していること」を視点にして、日々の授業改善に取り組んでいきましょう。子どもに還る研究にしたいですね。

○研修2 講義・演習 「探究する授業」

「探究する授業とは何か」について考え合いました。

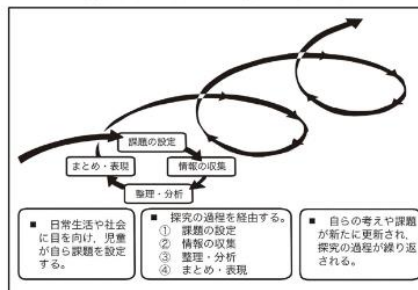
右の図は探究的な学習における児童生徒の学習の姿を表したもので、探究的な学習の過程が発展的に繰り返されることが、物事の本質を探って見極めることにつながります。

これは総合的な学習の時間に固有のものではなく、各教科等の本質を追究していく際には、重要な学習過程となります。本来「どうして?」「知りたい」という知的欲求をもっている存在である子供が、その力を十分に発揮できる授業を実現するために、大切にすべきことはどのようなことでしょうか？

是非、先生方同士、お互いの考えから学び合っていきましょう。

探究＝総合的な学習の時間？

探究的な学習における児童の学習の姿



新たな問いや課題が生まれ、探究が連続する

探究＝資質・能力の育成

【研究主任会当日スライドより】

#問い

私は

を大切にします」

以下のように考えている研究主任の先生方がいらっしゃいました。

研究主任
B先生



子供の深い学びを実現することを考えた時、我々教師の役割は何なのか考えなければならない。教科の見方・考え方を働かせることができる問いを子供たちがもてるよう教材研究したい。

子どもたちは「よくなりしたい」という思いを持っていることを先生方の実践から改めて感じる事ができた。「こうしなさい」と教師が押し付けるのではなく、「こうしたい」と子どもたちが思えるような場づくりや教材づくりが大切なのだと思います。

研究主任
C先生



各学校で取り組まれた成果や課題などを、今後の研究主任研修会等で共有していきましょう。

#問い

今日の授業…子供はどんな問いや願いをもっていましたか？

一人ひとりが尊重され 元気が湧いてくる
自分を見つめ、新しい自分を発見し、出会いから学ぶ

北信地区 社会人権教育研修会



日 時: 令和5年7月6日(木) 13:20~16:30 (受付開始12:50)

場 所: 飯綱町民会館 (上水内郡飯綱町牟礼1989)

12:50 13:20 13:30 15:00 15:20 16:30

| | | | | |
|----|------|----------------|-------|-----------------------|
| 受付 | 開会行事 | 全体講演会 (90分) | 休憩・移動 | 分科会 (70分) ※開会行事を含む |
|----|------|----------------|-------|-----------------------|

全体講演会 (13:30~15:00)

演 題 「高齢者の生活の中にある人権と尊厳について」

～日々の相談の中で、認知症の人も介護者も～

講 師 中澤 純一さん(NPO法人 やじろベー 代表)

分科会 (15:20~16:30)

第1分科会 【学校における人権同和教育の取組】……元長野県同和教育推進協議会長
元大鹿村立大鹿中学校長 永池 隆さん

第2分科会 【子どもの人権】……北信教育事務所スクール・ソーシャル・ワーカー・スーパーバイザー 宮崎 貞子さん

第3分科会 【障がい者の人権】……SOMPOホールディングス(株) 猪又 竜さん
長野県ヘルプマークディレクター 井出 今日我さん

第4分科会 【インターネットにおける人権侵害】……子どもとメディア信州 代表 松島 恒志さん

第5分科会 【ワークショップ「語り合おう 気づこう 人権」】
……東信教育事務所生涯学習課 指導主事 中村 哲さん

○参加対象者

- (1) 県・市町村社会人権教育担当者(行政職員、公民館関係者、社会人権教育推進者 など)
- (2) 社会教育団体関係者(女性団体・青年団、社会教育委員、社会教育指導員、PTA など)
- (3) 学校人権教育関係者(幼稚園、保育所、小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、高等学校 など)
- (4) 人権擁護委員、民生児童委員、福祉事業関係者 など
- (5) 企業人権教育関係者(公正採用選考推進員、企業内人権教育担当者 など)
- (6) 人権教育実践力スキルアップ講座受講者
- (7) その他(人権問題に興味・関心のある方ならどなたでも参加できます)



<申し込み> 別紙様式【参加申込書】に必要事項をご記入の上、北信教育事務所へメールまたはFAXでお申し込みください。締め切りは6月16日(金)です。
お問い合わせは担当者まで。

長野県教育委員会事務局 北信教育事務所生涯学習課(担当:宮坂 宏)
Tel:026-234-9552 Fax:026-234-9557
メール:hokushinky@pref.nagano.lg.jp